

同窓会員名簿第46号発行! (12月20日)

1,500冊限定! 1冊5,000円

名簿部分だけでなく、母校の歴史を語る特別寄稿や150周年事業の特集も企画しています。

同封の調査票の内容に変更がありましたら、訂正の上10月末までにご返送ください。

10月末までの最新データによる名簿となります。

お申込みは同封の名簿専用振込用紙をご利用ください。

『写真で語る一五〇年』

学校で発刊された書籍ですが、同窓会として会員向けに100冊確保いたしました。冊数に限りがありますので、事前に事務局までご連絡ください。



直接頒布価格: 1冊1,000円

郵送の場合は郵便振替: 1冊1,430円

郵便振替口座の名称「岡山朝日高校同窓会校史」

記号番号 01350-6-83331

※詳細は同窓会ホームページ→談話室
「頒布書籍案内」をご覧ください。

京浜同窓会より

創立150周年おめでとうございます。京浜同窓会でも会報、総会・懇親会にて150周年を盛り立てていきたいと存じます。また総会当日は山海嘉之氏(S53卒)の特別講演・デモを行います。お楽しみに!

令和6年度 定例総会・懇親会

日時: 令和6年10月13日(日)
13:00 ~ 15:30 (受付開始 12:30)

会場: 東京国際フォーラム ホールB7
(住所: 東京都千代田区丸の内3-5-1)

- 講演会/山海嘉之氏 同日 10:45 ~
- ご招待旧職員/伊藤豊美先生、難波修先生
- 懇親会費/一般 11,000円 (事前振込 10,000円) (年会費を含む) 学生無料

詳しくは京浜同窓会ホームページをご覧ください。

【京浜同窓会事務局】

E-mail: jim@asahikeihin.tokyo

HP: <https://asahikeihin.tokyo>



京浜同窓会HP



昨年の京浜同窓会総会懇親会 10月29日(日)

母校の美術品紹介

「西の京はつなつ」

かなたににおこ
金谷朱尾子 (昭和47年卒)

金谷朱尾子の才能

彼女が存命であればどれほどの名を遺しただろう。

人生70年の時代なら51才は若くはないのかもしれないが、あの才能がわずか50年でこの世から消えたことを思うと『天逝』としか表現しようがない。

私たち昭和47年卒は彼女とたった3年の高校生活を共に過ごした同級生だ。

岡山朝日高校の所蔵する同窓生の書画がこんなにあるとは知らなかったが、そういう同窓生も少なからずおられることと思う。創立150周年の長い歴史の中では美術の分野でも錚々たる名前が並ぶが、金谷朱尾子の名を是非知って欲しい。以前にも会報で取り上げられたことはあるが、同級生として彼女の作品、才能をご紹介したい。

昔で言う所謂文学少女。文才と画才のどちらが優れていたのだろうか。彼女は早稲田に行きたがっていたと聞いたことがあるが、やはり絵の道に進んで良かった。



早くにその才能が開花し周知のこととなったのはせめてもの幸이었다。昭和51年に京都市立芸術大学日本画科を卒業し、日展に初入選。56年には日展特選受賞。

絵のタイトルが難解であり秀逸だった。今では珍しい題名の付け方かもしれないが、当時は哲学的で聡明な彼女独特の感性だったと思う。本校寄贈作品の『西の京はつなつ』は平成19年にご遺族から寄贈され図書館に飾られていたそう。この花がカキツバナなのかショウブなのかアヤメなのか素人には迷うところなのだが、おそらくショウブだと思われる。金箔と大きな花びらがあでやかな彼女を想起させる上品な作品である。花の足元の青は水をイメージしている。スケッチも何点か寄贈されており、力強い女性像の作品と比べると柔らかな描線に驚く。絵本の挿絵を描いていたのは個展で初めて知った。丸味を帯びた柔らかな線で挿絵は描かれている。山陽新聞に掲載された吉備津神社の回廊と牡丹のスケッチと文章は美しかった。私は長らくその切り抜きを保存していたのに失くしてしまい残念である。

折れた羽を休める白鳥のように旅立ったとのことだった。回顧展を待ち望んでいる。

【則安 資子 (昭和47年卒)】